



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol.27 No.2663

2018～2019年度 国際ロータリーテーマ
インスピレーションになろう
 2018～2019年度RI会長 バリー・ラシン



■RI HP <https://www.rotary.org/ja>
 ■士別RC HP <http://www.douhoku.jp/shibeturc/>

2018～2019年度士別ロータリーのスローガン

「紡ぎ合う 互助の力で 未来へ」



写真/村中信心氏

- 例会場/士別グランドホテル
- 例会日/毎週月曜日 12:10～13:10
- 事務所/士別グランドホテル TEL:(0165)23-1234
- 会長/佐藤元保 ■副会長/奈良康弘
- 幹事/穴田俊昭 (平成31年)

今日のプログラム 第2747回例会 2019年3月4日(月)…〈普通例会・理事会〉

■ 2月25日の記録 ■ 〈夜間例会〉

- 司 会 山口 哲雄 会場監督
- 齊 唱 それでこそロータリー
- 本日の出席 会員47名中 出席者47名 出席率100%
- 本日の欠席
- メイクアップ 佐藤元保・奈良康弘・穴田俊昭・佐藤元信・但木行久・奈良雄二・福島和秀・水田孝志・谷村一文 (2/6ロータリー塾1回目)、佐藤元保・泉谷 勇・大野裕一郎・神田英一・奈良雄二・福島和秀・水田孝志・山下卓巳・谷村一文 (2/13ロータリー塾2回目)、佐藤元保・泉谷 勇・大野裕一郎・大江智宣・但木行久・水田孝志・谷村一文・志村孝幸・大橋直幸 (2/20ロータリー塾3回目)
- ゲ ス ト
- ビ ジ タ ー
- ニコニコBOX 累計172,000円

例 会 予 定

■3月の例会…《水と衛生月間》

- 3月4日(月)/例会・理事会
- 3月11日(月)/例会
- 3月18日(月)/例会
- 3月25日(月)/夜間例会

■4月の例会…《母子の健康月間》

- 4月1日(月)/例会・理事会
- 4月8日(月)/特別例会
- 4月15日(月)/例会
- 4月22日(月)/夜間例会
- 4月29日(月)/休会(法定休日：昭和の日)

■会務報告……………佐藤元保 会長

1月行って、2月逃げて、3月去るといことばがありますが、現実の日数はいつの年も同じように流れて行きます。

来る3月3日は桃の節供として親しまれているひな祭りですが、もともとは田植えの前に田の神様を迎えるために、紙や土で小さな人の形を作り、身体をなでてけがれを落とし、川や海に流す『祓い』の行事であったようで、その人形が次第に豪華になり現在のようになりました。この日女兒の成長を祝い喜び末長い祝福を祈ります。

またこの日、古いひな人形を始め五月人形、日本人形、フランス人形、こけし、ぬいぐるみなどを供養する30回目の人形供養感謝祭が士別神社で齋行されます。

■幹事報告……………穴田俊昭 幹事

1. 2月22日、帯広北ロータリークラブ60周年記念式典及び祝賀会へ、佐藤会長と私と2名にて出席して参りました。4時30分から5時40分まで記念式典、6時から7時30分までが祝賀会の2部構成となっていました。来賓は細川ガバナー、米澤市長、高橋商工会議所会頭の3名様、他にロータリアンが250名程度出席されていました。思ったよりコンパクトな式典という印象でした。式典では十勝総合振興局の三井局長様がNHKで4月から放送予定されている連続テレビ小説「なつぞら」をテーマに『「なつぞら」を盛り上げて十勝を元気に！！』と題しての講演がありました。局長自ら、放送を通じて十勝の魅力道を内外に発信するために、女性職員有志による「振興局のなっちゃん隊」を結成され、振興局と地元はもとより周辺自治体と一体となって全力で頑張りたいと熱く話をされていました。

2. 士別国際交流協会より、「ゴールバーンマルワリー市短期留学研修報告会」・「ホストタウン交流事例発表会」の案内が来ております。

日程は、3月11日、午後6時30分より 市民文化センター研修室にて行われます。申込締切は3月4日 午後5時となっております。

3. 士別市政経懇話会「ひぶな会」昼食交流会開催の案内が来ております。

日程は3月19日、正午より、士別グランドホテルにて行われます。参加申込は3月11日までとなっております。

■会員卓話(2/18)……………大江智宣 会員

(前号よりの続き)…また、現在入管法が法改正されたことに伴い、外国人材受け入れが拡大されています。当士別市、特に私の同業他社はかなりの会社が外国人材を受け入れています。しかし、この外国人材においても同じように賃金水準の高い大都市圏への集中が懸念されます。そこで、自民党の有志議員が2月7日に地域間で異なる最低賃金の全国一律化を目指す議員連盟を発足させました。行政も徐々に動いているのかと思います。

担い手を確保し、若者の地元離れを抑制し地方を活性化させるためにも、最低賃金全国一律化は一つの手法だと思います。

最後に、北海道の最低賃金は同じなのに、なぜ若者は地元士別から旭川や札幌に出て行ってしまうのかを考え、3市の平均所得と平均家賃を調べました。

士別市の平均所得は年収288万3,342円、平均家賃は5万5千円、旭川市の平均所得は年収275万2,168円、平均家賃は4万円、札幌市の平均所得は年収309万7,929円、平均家賃は札幌市中央区でさえ4万5千円です。札幌の白石だと3万円台の平均家賃となっております。

ここでわかるように、士別市は平均所得は旭川市よりも13万円ほど良いのですが、家賃が1万5千円高いので、年にすると家賃は18万円高くなってしまいます。そして札幌に対しては全てで負けています。旭川の若者に下請けにこないかとお話ししても、このまま旭川で働くと言われました。ですから、このまま何もしないで最低賃金そのままいくと衰退化、過疎化は止められないと思います。ただし、悲観することばかりではなく、本日も名寄産業高校さんに企業説明会に行きますが、2月6日にも翔雲高校さんで企業説明会があり、参加させて頂きました。卒業後、就職を希望する生徒さんの多くが、できれば地元の企業で働きたいと言っていました。ですから、まだまだこれから官民一体となって魅力ある士別、働きたい住みたい環境を作っていければ、士別の未来も少しは明るくなると思います。私の会社も4月から新入社員が2名入りますので、まずは自分の会社からでも再度見直し、職場環境を整え、魅力ある会社、働きたくなる会社であるように頑張ります。